

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：01 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

施 策：01 住民自治を支える職員の育成と適切な人事管理

施策担当職・氏名	総括主査 古前田 公湖
-----------------	-------------

1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が多様化する行政課題に対応し、市民主体の幸福感を育む環境づくりへの支援ができるような職員の育成を図ります。 ・滝沢市人材育成基本方針に基づき、「研修制度」「人事管理」「職場環境の整備」の3つのシステムを活用しながら人材育成を進めます。 ・これまでの人事制度を再点検し、効率的な人事管理と働き方改革を推進するための体制を構築します。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 職員の研修参加者数 単位 人	337	345	345	345	345	345	A
	単位		1,041	593	919	788	788	5,637.5
	単位							
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	20 職員採用試験事務 職員採用試験第1次試験申込者 単位 人	目標値	150	150	170	140	140	140
		実績	162	140	132	111	-	-
2	2811 安全衛生管理事業 定期健康診断受診率 単位 %	目標値	96	96	96	96	96	96
		実績	99.1	97	99.1	98.2	-	-
3	3041 職員研修事業 内部企画研修の実施 単位 回	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績	6	5	6	8	-	-
	単位	目標値						
		実績						
	単位	目標値						
		実績						

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 01 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築

施 策 : 01 住民自治を支える職員の育成と適切な人事管理

施策担当職・氏名 総括主査 古前田 公湖

2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・市が企画する内部研修の実施のほか、岩手県市町村研修協議会や盛岡広域首長懇談会事務検討会議人材育成部会が開催する外部研修へ職員を派遣し、年間を通じて職員の資質向上やスキルアップを図りました。 ・人事管理制度に関する点検及び管理職を対象とした人事評価制度に関する研修を実施し、公正・公平な人事評価制度の運用に努めました。 ・働きやすい職場を目指すための職員研修を健康推進課と共催し、働きやすい職場環境の構築に努めました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <p>内部及び外部研修の継続、定年引上げ制度構築、第3次滝沢市職員定員管理計画策定</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部企画研修及び外部研修へ職員派遣を行い、職員の資質向上やスキルアップを図りました。 ・定年引上げに関連する例規等の改正を行い、新制度の構築に努めました。 ・定年引上げや働き方改革を踏まえ、第3次滝沢市職員定員管理計画を策定しました。 	

3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収束傾向にある中で、アフターコロナを見据えた各種研修の実施や働き方改革等に取り組む必要があります。 ・急速な少子化・高齢化の進展や大都市への人口一極集中などの課題に対応し、本市の特性を生かした取組が求められています。 	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<p>基本施策達成のため、引き続き同一の内容の施策の実行が必要であることから、見直しの必要はありません。</p>	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年延長制度を取り入れた働き方改革の推進による取組みの継続 ・職員のメンタルやハラスメント対策に関する取組みの強化 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業者の取得増加による職員管理の検討 	

